



原田市長 「早期復旧のため」BRT受け入れ

3月1日、JR日田彦山線の復旧について、市は大明・夜明地区の住民説明会を開催しました。市長は、鉄道での復旧を断念し、BRT（バス高速運送システム）の導入を容認すると表明しました。

今回の説明会は夜明振興センター横の体育館で、住民約80人の参加で開催されました。JR九州から前田副社長も参加し、2月12日の日田市であった復興会議

に出された添田と夜明間の収支の状況とJR九州が考えるBRTの改善案を説明し「ご理解を」と述べました。

沿線住民からは「日田彦山線の小倉から日田までの収支を出さず、なんで添田から夜明なのか説明してほしい」「鉄道での復旧を望む」という声が出たものの、JR九州が1・6億円求めることを撤回しない状況の中で、参加者の中から「BRTでの復旧もやむなし」「高齢化が進む中で早急に普及してほしい」「運行のダイヤもルートももっと利



あいさつをする原田市長

用しやすく改善してほしい」など具体的な改善の意見も出されました。JR九州は「BRTは赤字が続いても運営する」「住民の意見を踏まえ運行ダイヤなどは検討したい」と述べました。原田市長は「一日も早い復旧をしたい。BRT案を第一候補にしていきたい」と受け入れを表明しました。日田彦山線の災害での復旧費は国や自治体の支援で大幅にJRの負担は改善され17億円まで減額されます。国から支援されている経営安定基金の残額約800億円も活用しようと思えばできます。JR九州社長の「廃線はしない」という国会での答弁もあります。鉄道事業者としての責任がもとめられています。

負担なしの鉄道復旧を求める住民の願いを聞かず JR九州はBRT案を迫る

新型コロナウイルス対策で一般質問は文書で提出・回答

政府の小中高の学校の一斉休業の要請を受け、議会としても緊急に議会運営委員会を開催し、執行部の業務との関係で代表質問、一般質問等について協議し、9日に代表質問のみを実施することに変更しました。

ような対応は、近年で初めてです。

共産党市議団は大谷市議が代表質問で①消費税の影響と地域経済対策②災害からの復旧で花月川の改修や雨水氾濫対策、日田彦山線の復旧③教職員の变形労働時間制、給食費無償化④新型コロナウイルス感染症対策、国保負担軽減等について。

3月の市議会

代表質問9日に変更



新型コロナ対策で一般報告する市長

市は直ちに新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しましたので、議会としても市の業務状況を鑑み、日程を変更しました。代表質問5会派からそれぞれ1人、一般質問は15名いますが、文書で提出し3月議会中に文書で回答をもらうことにしました。代表質問は4日を9日に変更し、その他は変化ありません。この

日限市議の一般質問は①働く場における男女平等の推進②労働環境の整備③ジェンダー平等と中学校の制服について。